

3 国政選挙結果

(1) 令和7年4月補欠選挙

衆議院議員及び参議院議員の補欠選挙は、対象となる欠員がないため実施されなかった。

(2) 第27回参議院議員通常選挙

第27回参議院議員通常選挙は、令和7年7月3日に公示、同月20日に投票が行われた。なお、東京都選挙区において、任期を異にする議員の欠員が1生じていたため補欠選挙が通常選挙と合併して行われた。

今回の選挙における選挙すべき議員数は、比例代表選出議員50人、選挙区選出議員75人（改選数74、通常選挙と合併して行われる補欠選挙の対象となる欠員1）の計125人であった。これに対し、立候補者数は、比例代表が172人、選挙区が350人、計522人であり、このうち女性の立候補者数は152人であった。候補者数の党派別内訳は表1のとおりである。

競争率は、比例代表で3.44倍、選挙区で4.67倍^(注1)であった。また、当選人数の党派別内訳は表2のとおりである。

自由民主党及び公明党から成る連立与党（当時）の獲得議席数は、自由民主党39、公明党8、計47であり、改選議席の過半数を下回る結果となった。

一方、野党各党（当時）の獲得議席数は、国民民主党が17、参政党が14、日本維新の会が7、れいわ新選組が3と改選前の議席数を上回り、立憲民主党が22^(注1)、日本共産党が3、日本保守党が2、社会民主党が1、チームみらいが1となった。

女性の当選人は42人^(注1)で、前回の35人^(注2)よりも7人増加し、過去最多となった。

投票率は、比例代表、選挙区ともに58.51%

であり、前回の通常選挙（比例代表52.04%、選挙区52.05%）を上回った。

（注1）東京都選挙区で通常選挙と合併して行われた補欠選挙に係る欠員又は当選人を含めたものである。

（注2）神奈川県選挙区で通常選挙と合併して行われた補欠選挙に係る当選人を含めたものである。

（表1）党派別立候補者数

	比例代表	選挙区	小計
自由民主党	31	48	79
立憲民主党	22	29	51
日本維新の会	13	15	28
公明党	17	7	24
国民民主党	19	22	41
日本共産党	19	28	47
れいわ新選組	12	12	24
参政党	10	45	55
日本保守党	4	5	9
社会民主党	5	6	11
みんなで作る党		1	1
無所属連合	2	8	10
チームみらい	3	12	15
日本誠真会	2	10	12
日本改革党	1	9	10
再生の道	9	1	10
NHK党	3	45	48
諸派		11	11
無所属		36	36
計	172	350	522

（総務省「第27回参議院議員通常選挙結果調」（令7.7.25）による）

(表2) 党派別当選人数

	比例代表	選挙区	小計
自由民主党	12	27	39
立憲民主党	7	14(15)	21(22)
国民民主党	7	10	17
参政党	7	7	14
公明党	4	4	8
日本維新の会	4	3	7
日本共産党	2	1	3
れいわ新選組	3	0	3
日本保守党	2	0	2
社会民主党	1	0	1
チームみらい	1	0	1
無所属		8	8
計	50	74(75)	124(125)

※ 括弧書きは、東京都選挙区で通常選挙と合併して行われた補欠選挙を含めた当選人数である。

(総務省「第27回参議院議員通常選挙結果調」(令7.7.25)による)

(3) 令和7年10月補欠選挙

衆議院議員及び参議院議員の補欠選挙は、対象となる欠員がないため実施されなかった。

(参考) 令和7年中の繰上補充

令和7年中の繰上補充は以下のとおりである。

① 衆・比例代表選出議員選挙(令和6年10月27日執行)

選挙区	九州選挙区
繰上補充事由	令和7年8月5日 堤 かなめ君辞職
当選人	丸尾 圭祐君
名簿届出政党等	立憲民主党
当選告示年月日	令和7年8月21日

選挙区	東北選挙区
繰上補充事由	令和7年9月8日 馬場 雄基君辞職
当選人	原田 和広君
名簿届出政党等	立憲民主党
当選告示年月日	令和7年9月18日

② 参・比例代表選出議員選挙(令和元年7月21日執行)

繰上補充事由	令和7年6月20日 鈴木 宗男君辞職
当選人	桑原久美子君
名簿届出政党等	日本維新の会
当選告示年月日	令和7年7月15日

③ 参・比例代表選出議員選挙（令和4年7月10日執行）

繰上補充事由	令和6年12月27日 足立 敏之君死去
当 選 人	小川 克巳君
名簿届出政党等	自由民主党
当選告示年月日	令和7年1月20日

繰上補充事由	令和7年9月1日 石井 章君辞職
当 選 人	上野 蛍君
名簿届出政党等	日本維新の会
当選告示年月日	令和7年9月18日